

渡船場巡り（懐旧）

第182回くらわん会例会 2011/7/5（火）



- ☆ <行程> 地下鉄・玉出駅 ⇒ 玉出西公園（朝会） ⇒ 千本松渡船場 ⇒ 鶴町南公園（昼食）
⇒ 千歳渡船場 ⇒ 泉尾公園（休憩） ⇒ 大正各駅（解散）
- <歩行距離> 約8km <参加者> 127名

<p>7月4日朝刊天気予報</p>	<p>梅雨前線の影響で、ここ数日間の天気予報では、当日7月5日は雨天と報じられていた。前日の朝刊では降水確率80%であり、傘を差しての「短縮行程」も覚悟していたが、当日朝になると何と降水確率0%の青空も見える晴天である。梅雨時の予報は、難しいとは言われている。歩行地周辺の湿度は高く感じたが、時に川縁からの心地よい風も吹き抜ける丁度良いハイキング日和である。左に前日朝の予報、右に当日朝の予報を掲載するが、晴れ男、晴れ女に、先ずは乾杯！（因みに、翌日も翌々日も雨であった）</p>	<p>7月5日朝刊天気予報</p>
-------------------	--	-------------------

☆ 地下鉄四つ橋線・玉出駅 ⇒ 玉出西公園（集合）



現在大阪市内には、市営の8ヶ所の渡船場があり、15隻の船が地域の身近な交通手段として、年間約200万人の方に利用されているということである（無料）。本日はこの中の2ヶ所の渡船場を中心に巡るコースである。



枚方近郊の住民には、あまり馴染みのない地下鉄四つ橋線・玉出駅から朝会場所の玉出西公園へ順次移動する。



コース説明、多数回参加表彰など恒例の朝会后、しばらく途絶えていたストレッチ体操を中島さん（枚方北支部）の指導で行うが、安全歩行の為にも有効と思われる。



中小企業工場群の多い市街地行進を開始したが、バス道路等は意外に広く、歩道も整備され歩きやすい。

☆ 千本松渡船場 ⇒ 鶴町南公園（昼食）



最初は木津川河口に近い「千本松渡船場」である。市街地を行進してきた我々には、遊園地の観光船を待つ子供達のようにわくわくしている。近くに停泊している大きい貨物船等を見るのも楽しい。



15分毎の運航、定員約60名ということで、2～3回に分かれることになるが、団体乗船の場合は「ピストン運航」して頂けるというサービスも行われている。対岸まで3分程度であり、待つ程もなく全員対岸へ集結できた。「千本松大橋」という立派な橋が横に建設されているが、螺旋板通路を含めると1 km 以上になり、こんな長い橋を自転車や徒歩で渡ろうとは思わないだろう。





下船して約30分再び市街地を歩き、正午頃に「鶴町南公園」という所に着き、昼食休憩となる。皆様のお弁当を垣間見ると、半数位の方は「コンビニ弁当」で、ご家族に手間をかけない（かけてもらえない？）気楽な（寂しい？）ウォーキングらしいことが分かる。



右下の写真は、毎回「おせち料理」の様な弁当を振る舞う方が2名おられ、集まる仲間もお酒を沢山持参し、「宴会」が主目的の様なグループの食材風景である。このグループの午後からの歩行状況は想像に難くない。



昼食時の話題も、ここ数ヶ月は「東日本大震災」が多かったが、少しは回復の兆しも見えてきて明るい話も増えているが、政治に不慣れに見える現政権への不満も増えてきているようだ。



☆ 千歳渡船場 ⇒ 泉尾公園（休憩） ⇒ 大正各駅（解散）



昼食後20分程度歩き、「千歳渡船場」に到着。ここにもまた「千歳橋」という立派な橋がある。



対岸から船がやってきたが、船客は10名程度である。この船に2班に分かれて乗船したが、2回目になると慣れてきて、自転車のお客さんを先に通したりして、気遣う光景も見られた。



地元の乗船客からは、「この暑さの中で、枚方からワザワザ見学とは…」と驚かれたりもした。下船後また30分程度歩いて、「泉尾公園」という所で少し長めの最後の休憩をとる。枚方自宅からは、かなりの歩行距離にもなり、流石少し疲れた顔も見られた。



京セラドームのあるJR・大正駅近くの小公園で解散となり、早くも京橋の居酒屋集合の方に話に移っている方々も散見された。晴天、往時を偲ぶ渡船、大河、枚方大橋より大きい橋、種々の船舶群、全てが楽しい一日であった。



<レポート：吉川、 写真：吉川、藤田>

